

NISHIGAKI 西垣靴下株式会社

ものづくりの技術を生かし、奈良産靴下の価値を全国・世界へ発信します。

私たちは「靴下で暮らしが変わる」を合言葉に、お客様に“150%の満足”を提供することを目指し、今日も誰かの笑顔を想像しながら開発に励んでいます。

西垣靴下株式会社 / 株式会社エコノレッグ
代表取締役社長

にし がき かず とし
西 垣 和 俊 氏



2025年4月15日、本社にてインタビュー

▶ 奈良産にこだわり、お客様の暮らしと心を豊かにする

—— 御社のこれまでの歩みを教えてください。

弊社は私の父が1953年に西垣文夫商店として創業したのが始まりです。そして、1970年に株式会社西垣を設立し、1984年に同社の大谷工場が独立して、1986年に西垣靴下株式会社として創業しました。私は大学卒業後、他社に就職しましたが、1983年に西垣に戻り、1994年に父から社長を引き継ぎました。

江戸時代から木綿の産地であった大和高田市周辺は明治以降、繊維産業が発展したことから、西垣靴下が創業したときには既に多くの靴下メーカーがありました。弊社は靴下メーカーとしては後発組でしたから、他社と同じように靴下を作るだけでは会社が成り立たないと考え、早くから他社との差別化を図ることを強く意識していました。創

業当時は、日本国内で販売されている靴下の多くが日本製でしたが、次第に貿易が盛んになり、海外の製品が大量に入ってきたことで、靴下メーカーだけでなく繊維産業そのものが厳しい経営環境に置かれることになりました。安価な海外製の商品が増え、国内製品の販売先が徐々に細っていく中で、経営者として「従業員を守りたい。販売先がないのであれば、自分たちで販売しよう」と自社販売を決めました。靴下は消耗品なので一定の需要はある。また糸や生地などと違い、自社工場で製品として既に完成しているため、自分たちでも販売できると考え2009年に自社ブランドである「エコノレッグブランド」を立ち上げました。

—— ファクトリーブランドエコノレッグについて教えてください。

エコノレッグは、お客様が望まれる様々なシーンに合わせて健康的に、快適に使える高機能な靴

下を専門に開発しています。

立ち上げ当初は知名度が低く顧客もない、本当にゼロからのスタートで、全く売れませんでした。顧客を増やすために宣伝し、商品を供給する。そして、使っていただいたお客様の声を聴き、ニーズにあった商品を開発し、供給するという繰り返しを何年も何年も続け、ここ最近ようやく事業として成立するようになりました。

商品開発をするにあたって、安価な海外製品との価格競争の影響を受けず、大手アパレルメーカーなどのブランド力にも負けない特別な商品が必要だと考えました。高くても納得して買ってもらえるもの、一度使ったらまた使いたいと思っただけのもの、例えば外反母趾の進行を抑える機能や血流をよくする機能を持った靴下が世の中にあれば、それは顧客に選ばれるものになるのではないかと思います。機能性を重視した商品の開発を長年続けてきました。「靴下で暮らしが変わる」をコンセプトに様々な足の悩みを研究し、形状や厚み、糸や編み方などを独自で開発しています。エコレッグのブランドマークは「暮らしをもっと楽しく、もっと楽に」という思いを込めて「楽」一文字で、日本の始まりの地である歴史都市奈良にふさわしい象形文字を使用しています。

奈良産にこだわり、お客様の暮らしと心を豊かにする創造性のある靴下をこれからも作り続けたいと考えています。



▶ 会社の想いと目指すもの

—— 御社では「クレド」を導入されているとお伺いしました。「クレド」とはどのようなものでしょうか？

「クレド」というのは、企業の活動方針を簡潔に表した言葉で、全従業員の行動や考え方の模範となるものです。弊社では「私たちが信じる事」をキーワードに「思い」「存在理由」「使命」「行

動」「価値観」をまとめ、私たちが目指すものづくりに対する考え方を社内全体で共有しています。

靴下の一大産地である奈良で生み出された革新的な技術を生かし、日本のものづくりをさらに進化させていきたいと考えています。また、「靴下で暮らしが変わる、暮らしを変える」を合言葉にすべてのステークホルダーの皆様の幸せと持続可能な地域社会の実現を目指しています。快適さと高機能の究極のバランスを追求し、お客様へ最高の満足を提供することが私たちの靴下づくりのミッションだと考えています。そのために弊社では、100%の満足ではなく、「150%の満足」を提供することを目指し、日々挑戦しています。

▶ 奈良産靴下の高い技術と品質を多くの人に知ってもらいたい。奈良産靴下の魅力を世界に発信

—— 大阪・関西万博の公式ユニフォームとして御社の製品を提供された経緯を教えてください。

「奈良産靴下」を全国そして世界の人に知ってもらいたいというのが私たちの願いです。その中で今回の大阪・関西万博の開催は、またとない機会でした。万博関係者や来訪者を通じて国内外の多くの方に、奈良には高品質で高機能な靴下が存在することを知っていただく機会になると思っています。また、奈良のものづくりを広くアピールすることにより、奈良の文化や産業の魅力を紹介し、大阪・関西万博の機運を同じ関西である奈良から盛り上げたいと考えました。万博という、最新の技術やアイデアが集まる場で、私たちの技術を紹介し、靴下の新しい魅力や使い方をたくさんの人に知ってもらいたいと思っています。



大阪・関西万博ユニフォームに提供した靴下

——大阪・関西万博のユニフォームに採用された「疲れしらずのくつした®」とはどのような靴下なのでしょうか。

エコノレッグの大ヒット商品「疲れしらずのくつした®」をベースに万博スタッフの方々の快適な勤務環境を実現するために、万博専用に改良を行いました。この「疲れしらずのくつした®」は“令和2年度（公社）発明協会近畿経済産業局長賞”と“OMOTENASHI Selection 2020”を受賞した自慢の靴下です。一番の特徴である土踏まずのクッション編みは一般の靴下の4倍の反発力があり、歩いた時の衝撃によるダメージを減少させる効果があります。足には常に体重の1倍～5倍の負荷がかかっていますので、一日硬い床や地面の上で立ち仕事をしていると足の裏が硬くなり土踏まずのアーチが崩れて衝撃を吸収できなくなります。そうすると足が疲れやすくなったり、ふくらはぎに痛みを感じたりします。それを防ぐために、土踏まず周辺の負荷がかかりやすい部分にクッションを入れ一日の足の疲れを軽減することに特化した商品を開発しました。靴の中で足が滑るのを防ぐ編み込み滑り止め、当社の特徴であるテーピング編みで体幹を安定させるなど特許技術

を盛り込み、履き心地にもこだわった高機能な靴下を今回、大阪・関西万博のユニフォームとして1万足を無償で提供しました。宣伝のためだけに提供するのであれば、価格を抑えた靴下を作ればいいのですが、それでは私たちが手を挙げた意味がありません。表からは見えにくいスニーカーソックスではありますが、既に万博スタッフの方からは、「本当に疲れない！すごい！！」と嬉しい声をいただいています。これを機に世界に奈良産靴下の品質の良さと、靴下産地としての知名度が広がることを期待したいと思っています。

▶直接お客様の声を形にすることで生まれる新たな技術・商品

——様々な方と共同開発をされていますね。

オリジナル商品の開発に加えてOEM製造も積極的に行っています。通常OEM製造は、他の販売会社やアパレルブランドなどの商品を作ることになりますが、私たちが得意とするのは、大量生産による低価格を売りにする靴下ではなく、お客様に新しい快適を提供する高付加価値製品です。

靴下は素材、機械、編み方によって、まったく特徴の違う製品が出来上がります。数多くの製品開発で得た豊富な知識と技術を使って弊社オリジナルの靴下製造をしていく中、お客様から少量でもいいからもっと専門的な靴下を作れないかという声をいただくようになりました。そこで、多くの団体の方と共同開発という形で様々な製品を開発しています。エコノレッグブランドを立ち上げ、直接お客様に販売するようになった事で、お客様の声をものづくりに反映できるようになりました。

共同開発をしていると、開発側と使用者側では、発想や意見が全然違うこともあり、私達だけでは考えつかなかった新たな製品を生み出すことに繋がりました。具体的な事例としては、京都大学ラグビー部と共同開発した「スクラムに押し負けない靴下」があります。もとは京都大学ラグビー部OBの方から「スクラムを組む時に相手に押し負けず大きな力が出せる靴下はつくれないか？」と

疲れしらずのくつした®

こんな悩みに！

- くつの中で靴下が脱げやすい
- くつの中で靴下がズレちゃう
- 立ち仕事で疲れる
- くつの中で靴下がすべる

内側が **クッション編み** になっていて気持ちいい！

裏側

※個人の感想です。

1. テーピングで足をサポートするから疲れにくい
2. 土踏まずのクッションがインソールの様に衝撃をガード
3. 特殊滑り止めで足・靴下・靴がフィット運動ロス軽減

アーチサポート

「疲れしらずのくつした®」の特徴



いうお話があり、創部 100 周年記念として選手の声を重視したラグビーハイソックスを開発しました。ラグビーといえば、スクラムやモールなど相手を押し込むプレーが多く、下半身の力をどれだけ伝えられるかで、プレーの強さが変わります。そのために、靴の中で足が滑らずに、踏ん張りが効くことを重視し、開発を進めました。選手の意見を聞き、試作・改良を繰り返しながら、足裏全体の滑り止めと編み込み滑り止め技術により大きな摩擦力を生み出す従来になかった靴下が完成しました。激しく動いても足がブレない工夫と踏ん張る力を最大限発揮するために親指の付け根にゴム編み滑り止めを使い、ふくらはぎ部分はむくみ軽減のため、血行促進の医療機器製造技術に応用した段階着圧編みでこむら返り予防対策を施し、特許技術である丈夫な足裏クッション編みを取り入れることで、衝撃緩和はもちろん、耐久性は通常のスポーツソックスの 10 倍を誇るオンリーワンの製品ができました。試合後選手から「スクラムの時、靴の中で足が滑らないのは最強です！」と嬉しい感想もいただいています。大学のクラブ×中小企業が生んだ新たな可能性と感動を多くの方にも知っていただけるよう野球やバスケット、サッカー、アメリカンフットボールなどのスポーツに適した仕様に改良し、商品化したものを現在販売しております。サッカーやラグビーなど試合時間はおよそ 2 時間程度、その中でベストなパフォーマンスをしてほしいとの願いを込めて「2 時間で勝負する靴下」とネーミングしました。吸収・速乾効果や抗菌・防臭性など快適さにもこだわっていますので、ぜひ多くのアスリートの方に使って

いただきたいです。

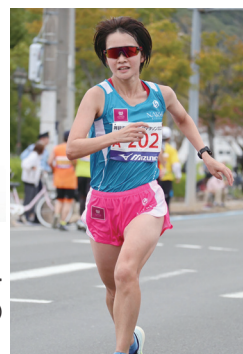
—— 奈良マラソンでランナーの方たちと共同開発された靴下はどのようなものですか。

2010 年の奈良マラソン第 1 回大会より「奈良マラソン公式ソックス」を作り応援しています。毎年奈良マラソンに関わる中で、クラブ型実業団女子マラソンチーム NARA-X アスリーツと出会いました。NARA-X アスリーツは、奈良県の雇用とスポーツ振興を兼ねて企業と協力し奈良県の魅力を県外にアピールしているチームです。NARA-X アスリーツの熱意と私たちが掲げている「靴下を奈良から世界へ発信したい」という想いがリンクし、「走る人に特化した走る人のための靴下を作り、もっと走りが好きになる世界を作ろう！」と開発に乗り出すことになりました。

選手の皆さんにエコノレッグの靴下を試着してもらったところ、「クロステーピング」と「疲れしらずのくつした®」の構造がランナーの足の疲れを軽減することがわかり、リアルな実地テストを繰り返すことで、ランナーのパフォーマンスを上げるだけでなく、足への衝撃や体幹の崩れを防ぎ、走りを支える「走るための靴下」が完成しました。この靴下を履いて、奈良マラソン 2024 女子おたるみずはの部ではアスリート社員大樽瑞葉選手が見事 2 位、他の NARA-X 選手も上位入賞という素晴らしい成績を収めてくれました。



(左) ソックスラボランニング (5 本指)
(右) 大樽瑞葉選手(エコノレッグ採用アスリート社員)



—— 「旅するタビ®」とはどのような靴下なのですか。

共同開発によって新しい製品を開発し続けていくうちに、スポーツ界だけに限らず、幅広い業界

の方からお声をかけていただけるようになりました。2024年7月に、奈良の旅館・ホテルの女将たちで結成された「奈良あゆみ会」の皆さんに奈良の観光を盛り上げることを目的に旅行者向けの靴下を開発したいとお話をいただきました。旅行者向けということで、私たち開発側はウォーキング用靴下のような、1日歩いても疲れずに歩くための靴下を想像していたのですが、女将さんたちの意見を聞くと、私たちでは考えつかなかった意見や要望ができました。旅行に行く時はリラックスできる格好で行きたいと思う方が多いので、締め付けないこと。年配の方でも楽に履ける靴下が良い。加えて旅行時は普段より歩くので、少しでも足の疲れが軽減される機能も欲しい。と様々な要望があり、何度も意見をすり合わせて旅行に特化した「旅するタビ®」を完成させました。た



旅するタビ®

くさん歩くとむくみやすいので口ゴムは緩め、足袋仕様にすることで足指が動かしやすく、足全体の筋肉を使うことで血行がよくなり疲れにくくなります。内側はインソールタイプのクッション編みで、衝撃を緩和し土踏まずを持ち上げ、テピング編みで踵を安定させているので、一歩目が踏み出しやすい特徴があります。「お客様に快適に奈良散策をしてもらいたい、旅の一日の終わりを少しでも楽に過ごしてもらいたい」という女将さんたちの熱い想いが詰まった「旅するタビ®」は、主に奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合加盟の旅館・ホテルなどで販売しています。大阪・関西万博をきっかけに奈良を訪れ、宿泊される多くの方に、奈良の靴下の良さを知っていただきファンになっていただく機会になれば嬉しく思います。今後は、全国各地の女将さんたちと共同開発し旅館や地域の土産物売り場で「旅に特化した靴下」の提案をしていきたいと考えています。奈良をス

タートに、日本全国の観光地で奈良産靴下を広める事ができる日を楽しみにしています。

▶SDGs への取り組み

—— 余った糸を捨てないで新たに開発されたエコソックスのことを教えてください。

靴下を作るための材料になる糸ですが、靴下メーカーの多くは糸を仕入れる際、不足しないように多めに仕入れるため、どうしても



エコソックス

「残糸」が出てしまいます。今まで、そのほとんどを廃棄処分にしていましたが、残糸であっても品質の良さは同じですから、どうにか再利用できないかと企画チームを立ち上げ、配色や形などを工夫し、新たな靴下を作りました。それがエコソックスです。

他の靴下より比較的安価であることや環境に配慮した取り組みであることを評価いただくなど、新たな顧客ニーズを発掘することができました。また、弊社では2020年から「1 socks for 1 smile 運動」を行っています。この取り組みは、顧客がエコノレッグの靴下（エコソックス除く）を1足購入するごとに、支援団体を通じて支援を必要とする方にエコソックスを1足届けるというもので、10万足の靴下を寄付するゴールを目ざして始めたチャリティーキャンペーンです。既に10万足は突破しましたが、「エコノレッグ商品を購入してくださる人」と「様々な事情により困難を強いられている人」の“心”と“心”が巡り巡って、エコノレッグの靴下が誰かの手助けにつながってほしいという想いから、今も続けています。産地の一企業による小さな行動に過ぎませんが、中小



靴下の材料となる糸

企業が出来る企業活動の一例となり、SDGsの取り組みが周囲にも広がって行くことを期待しています。

▶ 数々の発明賞を受賞し・地域未来牽引企業にも選出

—— 数々の発明賞を受賞されていますね。

先にお話したように他の靴下メーカーとの差別化を図るため、設立当初から開発には非常に力をいれてきました。その積み重ねが近畿地方発明表彰の受賞に繋がったことは、弊社の技術が認められた証ですので非常に喜ばしいことです。2014年に初めて奈良県発明協会会長賞をいただき、2016年からは9年連続、計10回にわたり、数々の賞をいただきました。その中でも、2020年に近畿経済産業局長賞を受賞した疲れにくいインソール靴下は私たちの代表商品であり、大阪・関西万博ユニフォームに採用された「疲れしらずのくつした®」にも採用している衝撃緩和効果が特徴です。他にも外反母趾対策靴下やつま先を持ち上げてつまずきを予防する靴下、足首からふくらはぎまで段階的に加圧し血流改善や疲労物質の蓄積を防ぐ効果のあるクロステーピング靴下など、体の衰えや悩みを解決するために開発した靴下の多くが評価されました。この技術こそが、弊社の「靴下で暮らしが変わる、暮らしを変える」という考えの結晶だと思っています。

—— 大規模災害時には全国へ靴下を寄付されていると伺いました。

エコソックスを中心に、災害時には、被災地へ靴下の寄付を行っています。支援物資として衣類や毛布などを寄付される方が多いのですが、実は靴下や下着は古着がないので、寄付が少なく必要としている方が多いのです。災害で困っている方々に



地域未来牽引企業選定証

靴下メーカーとしてできることをし、喜んでいただけるならこんなに価値

のあることはないと思っています。ある災害時に、長期間車で生活を余儀なくされた被災者の方が旅行者血栓症（エコノミークラス症候群）で亡くなるというニュースを目にしたときは、急いで医療用機器認定の着圧ソックスを送りました。靴下で血流を良くしていただきたい、何か助けになりたいとの一心でした。今回の万博ユニフォームの提供も宣伝効果だけを考えてしているわけではありません。寄付もそうですが、奈良の靴下メーカーとして今、私たちに何ができるのかということを考え行動しています。その中で、「奈良の靴下は良いものだ」と皆さんに知っていただければこんなに嬉しいことはありません。私たちが長年かけてひとつずつ積み重ねてきた技術や取り組みが形となり2017年に「地域未来牽引企業」に選定、2023年には「次代を担う繊維産業企業100選」に選ばれるなど名誉ある評価をいただきました。

これからも地域経済の中心的な担い手になれるよう、私たちにしかできない新たな挑戦をしたいと思います。

▶ 奈良でものづくりをすることの大切さを繋ぎ、光り輝く100年企業を目指す

—— 社長のこれからの夢をお聞かせください。

弊社の靴下が選ばれる理由のひとつには、スポーツ用だけでなく、様々な足の悩みを解決する機能や衰えをサポートする機能など、付加価値の高い靴下を豊富にラインナップしていることにあります。それを可能にしているのが、長年培ってきた技術力です。顧客の声を聴いて製品化する、多品種少量生産・販売こそが大手にはできない私たちの強みであり、未来に繋がる重要な戦略だと考えています。大きな利益を得られなくても、長く続く企業にしたいというのが私の目標です。それが、「お客様に安心して使っていただける」、「従業員が安心して働ける」、「取引先が安心して取引できる」ことに繋がると考えています。規模は小さくても光り輝き長く続く「100年企業」を目指しています。そして、奈良という地域が長い



時を重ねて形にしてきた高機能な靴下づくりの技術と品質を全国・世界に発信し、「奈良といえば靴下」と誰もが口にするような「靴下の名産地『奈良』」を実現したいと思います。

個人的な夢は、ゴルフで3つのタイトルを獲る事です。自身のホームコースでは「理事長杯」、「キャプテン杯」、「クラブチャンピオン」と3つの主要な大会があり、実は「クラブチャンピオン」だけまだタイトルがとれていません。我が社のゴルフ用靴下を履いて3つ全てのタイトルを獲得する事が生き甲斐のひとつです。

もう一つ、昔から世界史が好きなので、教科書に載っているような歴史上の有名な地域や建物などを時間が許す限り、自分の目で見て回りたいと思っています。

——若いビジネスパーソンへメッセージをお願いします。

私の経験から「目指すことなく、実現することはない」と言うことをお伝えします。物事は将来の目標や形を明確にし、それに向かって着実に進めていくことが大切です。まずは目指そうと思うこと。それと、物事は必ず段階を踏み、積み重ねていくことでしか進みませんので、一足飛びにはいけないということを理解する。段階を経て、経験を積んだからこそ今の自分があり、目指すものに近づくと考えてもらいたい。目指すものはたくさんあって良いのだから、仕事や趣味など自分が没頭できるものをぜひ目指して、実現するための段階を一段ずつ積み上げていてもらいたいと願います。

(聞き手・文責：清原香織)

●プロフィール 西垣 和俊 氏

■主な経歴

1980年 大阪経済大学 卒業
1980年 株式会社ワカバ 入社
1983年 株式会社西垣 入社
1986年 西垣靴下株式会社 設立
1994年 同社 代表取締役社長 就任
2009年 株式会社エコノレッグ 設立
2021年 大和高田市優良事業者表彰 受賞

■座右の銘、好きな言葉

目指すことなく、実現することはない

■大事にしていること

家族、会社

■趣味

ゴルフ、歴史探訪、山登り

■好きな食べ物

たこ焼き、お好み焼き

■お勧めの本

青春の門（五木寛之）

■私のストレス発散法

ゴルフ、旅行

■奈良県内で好きな場所（よく訪問される場所）

東大寺二月堂、三月堂界隈

■西垣靴下株式会社

- ・本 社：奈良県大和高田市大谷 61 番地
- ・設 立：1986 年（昭和 61 年）12 月
- ・社員数：45 名
- ・事業内容：子供・婦人・紳士靴下、サポーター
製造販売、ブランド「エコノレッグ」
の製造販売、OEM 商品の製造、第
3 種医療機器の着圧製造販売

■株式会社エコノレッグ

- ・本 社：奈良県大和高田市大谷 61 番地
- ・設 立：2009 年（平成 21 年）11 月
- ・社員数：5 名
- ・事業内容：高機能靴下、サポーター、繊維製
品の企画・製造販売
- ・直営店舗：本社（右写真）
- ・常設店舗：高島屋大阪店
7 階

